平成 24 年 10 月 15 日

各 位

J-STAR 株式会社
代表取締役 原 禄郎

# アポプラスステーション株式会社の株式譲渡契約の締結について

弊社は、弊社の管理・運営するファンド（J-STAR 一号投資事業有限責任組合）が保有するアポプラスステーション株式会社（本社：東京都千代田区、代表者：尾崎健久、http://www.apoplus.co.jp/ 以下、「APS 社」という。）の全株式を、クオール株式会社（東証 2 部 3034、http://www.qol-net.co.jp/)（以下、「QOL 社」という。）へ譲渡することを目的とし、株式譲渡契約を締結しましたのでお知らせいたします。

APS 社は、CSO （Contract Sales Organization：医薬品の営業・マーケティング受託機関）企業として MR 派遣・受託に留まらない医薬品業界の「ソリューションパートナー」を目指しており、医薬広告代理店として製薬会社の医薬マーケティング活動を支援する株式会社シナジーならびに、医師および医療機関とのネットワークに基づき臨床研究や疫学調査を支援する株式会社イービーエムズとの資本提携によって、幅広い医薬品情報提供ニーズに対し、ワンストップでサービス提供できる企業グループの体制構築に取り組んでまいりました。

QOL 社は、調剤薬局チェーン大手として国内 300 超の調剤薬局を展開、コンビニエンストアや家電量販店等への出店など先進的な取り組みでユニークなポジションを確立しております。また QOL 社は、調剤事業のほか、医療関連人材紹介・派遣、医薬品関連情報提供資材制作、SMO などの事業を展開し、中期経営計画においてはこれら非調剤事業部門の拡大を掲げておられるなど、本件株式取得はその戦略実現の一環であります。

弊社と致しましては、APS 社グループが今般 QOL 社のグループに参加することは、国内では初の「調剤薬局店舗網を背景に持つ CSO グループ」の誕生という意義をもつと考え、また QOL 社のもつ医薬品業界におけるネットワークや信用力など有形無形の資産を活用できることが、APS 社グループの更なる成長加速に大きく寄与するものと判断いたしました。

なお、今般の弊社の契約締結にあたり、弊社の法務アドバイザーとしてベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）の協力を得ております。

以上

J-STAR 株式会社　（www.j-star.co.jp）

J-STAR は、2006 年に創業した国内独立系の投資会社です。主に未公開株式への投資を行うプライベート・エクイティ投資、その中でも経営権を取得し、当該事業価値の向上を図るバイアウト投資事業を手がけています。　J-STAR は企業・経営陣の課題解決と成長ストーリーの実現を重視した投資提案を行うとともに、①優れた経営者/幹部社員の存在、②ファンドマネジャーの関与による付加価値増大余地、③市場地位やビジネスモデルなどの特異性/優位性を投資基準に、ファンドマネジャー達の経験/知見/スキルが活かされ易い、企業価値 30 億円～100 億円の案件を主要投資対象にしています。創業以来、J-STAR は消費財、サービス、ヘルスケア、環境、製造など多岐に渡る業種に属する 13 社への投資を行っています。